



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 関門海

コード番号 3372 URL <http://www.kanmonkai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 正

問合せ先責任者 (役職名) 経営支援部シニアマネージャー

(氏名) 田淵 広宣

TEL 06-6578-0029

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	840	△10.9	△156	—	△175	—	△129	—
26年3月期第1四半期	942	△4.4	△162	—	△180	—	△106	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △129百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △106百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△13.91	—
26年3月期第1四半期	△11.41	—

当社は、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
27年3月期第1四半期	4,020		54		1.4	
26年3月期	4,302		189		4.3	

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 54百万円 26年3月期 183百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,780	△2.8	△350	—	△385	—	△280	—	△30.08
通期	5,500	4.2	240	87.3	160	168.9	80	—	8.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	9,609,000 株	26年3月期	9,609,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	302,000 株	26年3月期	302,000 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	9,307,000 株	26年3月期1Q	9,307,000 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成25年10月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する、一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融政策を背景にした株価の上昇や円安傾向が続き、景気回復の明るい兆しがみられました。しかし、その一方で不安定な海外経済や消費税増税により先行きは依然として不透明な状況で推移しました。外食産業におきましては、消費税増税もあり、消費者の生活防衛意識は依然として強く、また、食に関する安全への意識も高まっていることや、パート・アルバイトの人員不足も顕著化しており、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループは、「玄品ふぐ」事業への原点回帰を柱とした中期経営計画の最終年として、収益体質の更なる確立を行うべく、前期より引き続き店舗現場力の強化等、事業全般の収益力の強化を実施してまいりました。特に「徹底した人材育成」「徹底した情報発信」「新商品開発の継続」を3本柱として、総料理長制度の導入や階層別の研修、オフィシャルホームページの刷新、季節ごとの限定コースメニュー等、様々な施策に取り組みました。

主力事業である「玄品ふぐ」につきましては、冬季における需要が大きいとらふぐ料理店であるため、当第1四半期連結累計期間は厳しい環境下にあります。例年5月に実施しております「母の日」フェアを行わなかったこと等により売上高は減少いたしました。値引きの抑制効果や、飲み放題コースの比率向上等による客単価増などにより、原価率が改善いたしました。また季節ごとに四季を感じて頂けるコースメニューである「春霞膳」「夏安居」の販売を行い、好評を得る事が出来ました。その他に、新規顧客確保のための法人営業や、毎月29日にご来店頂いたお客様へお贈りする「福土産」の実施、全社員を対象とした研修などにより、お客様がまた来なくなる店づくりに努めました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における直営店舗は前連結会計年度末から4店舗増加し49店舗（関東地区31店舗、関西地区14店舗、その他地区4店舗）、当第1四半期連結累計期間の「玄品ふぐ」直営店舗の売上高は435百万円（前年同四半期比2.4%減）となり、前年同四半期を下回る結果となっております。フランチャイズ店舗数は前連結会計年度末から5店舗減少し41店舗（関東地区18店舗、関西地区23店舗）となり、フランチャイズ事業に関連する当第1四半期連結累計期間の売上高は、とらふぐ等の食材販売、ロイヤリティ等により91百万円（同比7.3%減）、フランチャイズ店舗における店舗末端売上高は241百万円（同比8.5%増）となりました。

「玄品ふぐ」以外のその他の店舗につきましては、連結子会社である株式会社関門福楽館が運営をする壇之浦パークエリアは、より地域色の濃い商品提供や団体客誘致等に努めましたが、春季に約2ヶ月にわたり実施された関門橋舗装改良工事により、平日車線規制による通行量減少に伴う利用者減が響き、売上高が減少しました。

また、連結子会社である株式会社だいもんが運営する回転寿司「すし兵衛」につきましては、キャンペーン等を実施いたしましたが、依然厳しい状況で推移しました。その結果、その他の外食店舗の店舗数等は前連結会計年度末から1店舗減少し13店舗となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は313百万円（同比21.3%減）となり、前年同四半期を下回る結果となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は840百万円（同比10.9%減）となり、主力事業であるとらふぐ料理専門店「玄品ふぐ」の閑散期による季節的変動により、営業損失156百万円（前年同四半期は162百万円）、経常損失175百万円（前年同四半期は180百万円）、四半期純損失129百万円（前年同四半期は106百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して281百万円減少し4,020百万円となりました。これは主に在庫消化によるたな卸資産の減少60百万円、売掛金の減少86百万円等の減少要因によるものであります。

#### (負債)

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して147百万円減少し3,966百万円となりました。これは主に買掛金の減少54百万円、未払金の減少64百万円、賞与引当金の減少31百万円等の減少要因によるものであります。

#### (純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して134百万円減少し54百万円となりました。これは主に四半期純損失の計上による利益剰余金の減少129百万円、新株予約権の行使期間満了による消却にともなう減少5百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月15日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,116,927	943,102
売掛金	164,052	77,315
商品及び製品	1,118,937	1,058,033
原材料及び貯蔵品	14,954	16,249
繰延税金資産	72,960	137,351
その他	121,019	112,919
貸倒引当金	△7,337	△7,578
流動資産合計	2,601,514	2,337,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	826,480	793,683
その他(純額)	175,226	191,253
有形固定資産合計	1,001,706	984,937
無形固定資産		
その他	5,937	6,060
無形固定資産合計	5,937	6,060
投資その他の資産		
差入保証金	668,394	665,678
その他	38,988	40,513
貸倒引当金	△13,933	△13,933
投資その他の資産合計	693,449	692,258
固定資産合計	1,701,093	1,683,256
資産合計	4,302,608	4,020,649
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	131,241	76,813
短期借入金	1,352,293	1,352,293
1年内返済予定の長期借入金	2,104,107	2,106,192
未払金	246,548	181,858
未払法人税等	16,851	9,109
賞与引当金	38,424	6,427
その他	32,627	46,120
流動負債合計	3,922,093	3,778,814
固定負債		
長期借入金	133,027	130,942
その他	58,412	56,568
固定負債合計	191,439	187,510
負債合計	4,113,533	3,966,325
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	596,896	596,896
資本剰余金	705,893	705,893
利益剰余金	△831,018	△960,485
自己株式	△287,980	△287,980
株主資本合計	183,790	54,324
新株予約権	5,284	—
純資産合計	189,075	54,324
負債純資産合計	4,302,608	4,020,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	942,795	840,469
売上原価	324,902	262,709
売上総利益	617,893	577,760
販売費及び一般管理費	780,363	734,561
営業損失(△)	△162,470	△156,801
営業外収益		
受取利息	66	159
受取地代家賃	1,650	1,650
還付加算金	908	77
その他	147	101
営業外収益合計	2,772	1,988
営業外費用		
支払利息	17,613	17,082
その他	2,763	3,228
営業外費用合計	20,377	20,311
経常損失(△)	△180,075	△175,124
特別利益		
新株予約権戻入益	20,628	5,284
特別利益合計	20,628	5,284
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	2,100
減損損失	—	13,576
特別損失合計	—	15,676
税金等調整前四半期純損失(△)	△159,446	△185,515
法人税等	△53,284	△56,049
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△106,162	△129,466
四半期純損失(△)	△106,162	△129,466

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△106,162	△129,466
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△106,162	△129,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△106,162	△129,466
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。